

民意を無視した土砂投入で、サンゴの海が破壊されています！

ストップ！辺野古埋立て6.5 横浜の集い



4月21日投開票の衆議院沖縄3区補欠選挙では、「辺野古新基地反対」を掲げた屋良朝博さんが「容認」を主張した政権与党推薦候補を17728票差で破りました。3区は名護市・沖縄市など米軍基地を抱える沖縄北部・中部の地域を抱えています。昨年の県知事選、2月の県民投票に続いて改めて「辺野古ノー」の民意が示されました。しかし政府・防衛省は、沖縄の民意も法手続きをも無視して、辺野古の米軍基地建設を強行しています。大浦湾側の軟弱地盤や活断層の存在が指摘され、莫大な建設費用（＝税金）も完成までの工期も提示できないまま、浅瀬部分に赤土混じりの土砂を投入し続けています。貴重な餌場を奪われた国際保護動物のジュゴン姿を消し、絶滅危惧種のサンゴや希少生物が日々生き埋めにされているのです。

辺野古の座込みテントには「勝つ方法はあきらめないこと」の文字が掲げられています。辺野古や安和栈橋のゲート前座込み、カヌー隊の海上行動も続いています。

沖縄からの訴えを受けて、安倍政権の暴走を止めるために私たちに何ができるか、改めて考えてみたいと思います。多くの参加を！

◆沖縄からの訴え：「辺野古のたたかい～現状と課題」

安次富 浩さん（ヘリ基地反対協議会共同代表）

◆発言：「県民投票の経験から考える〈沖縄の自己決定権〉」

元山 仁士郎さん（「辺野古」県民投票の会）

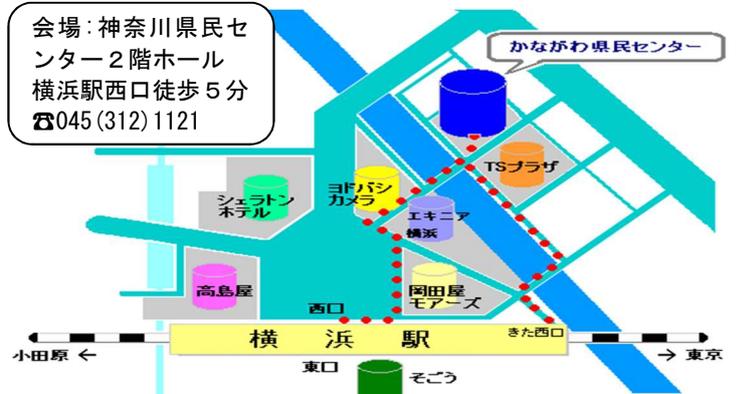


▲安次富浩(あしとみひろし)さん



▲元山仁士郎(もとやま じんしろう)さん

会場：神奈川県民センター2階ホール
横浜駅西口徒歩5分
☎045(312)1121



主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

★結ぶ会代表世話人：仲宗根保(鶴見沖縄県人会元幹事長)・高梨晃嘉(元横浜市議)

協賛：神奈川平和運動センター/基地撤去をめざす県央共闘会議

連絡：090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜)

資料代：800円(学生無料)